

聞こえの状態を知ることが、補聴器選びの第一歩。
ご自分でチェックしてみてください。



■聞こえの自己診断

- 会話中に相手の話を聞き返すことがある。
- 小声やささやき声が聞き取りにくい。

すべて「いいえ」

ひとつでも「はい」がある

- テレビやラジオの音量が大きいと家族によく指摘される。
- 会話が聞き取れず、あいまいに相づちを打つことがある。
- 自分の後ろでの会話に気づかないことがある。

すべて「いいえ」

ひとつでも「はい」がある

- 会話の中で相手の声がよく聞き取れない。
- 病院や銀行などで名前を呼ばれても、気づかない時がある。
- 大声での会話や耳もとで話してもらわないと聞き取れない。

すべて「いいえ」

ひとつでも「はい」がある

- 正面から大声で話しかけられても聞こえない時がある。
- 目の前の電話の呼び出し音が聞こえない時がある。

すべて「いいえ」

ひとつでも「はい」がある

難聴の程度(推定)

補聴器の必要性

正常

ほとんど聞こえる

補聴器は必要ありません。

軽 軽度難聴

聞き返しが多い

普段の生活で聞き間違いによるトラブルや仕事に支障がある方は、補聴器の使用を検討されてみてはいかがでしょうか。

中 中等度難聴

大きめの声でなければ聞こえない

聞こえが気になりコミュニケーションが上手くいかないと、精神的にストレスが溜まりご家族にも負担がかかります。

高 高度難聴

耳もとで大きな声で話さないと聞こえない

日常生活で聞き取ることが困難な状況になり、周囲の人たちと疎遠になってしまう前に、補聴器の使用をおすすめします。

重 重度難聴

耳もとでの大声も理解できない時がある

著しく生活に支障をきたすおそれがあります。早急な補聴器の使用をおすすめします。

●聴力レベルの推定と補聴器の必要性のコメントはあくまでも目安です。聴力レベルは、一般社団法人日本補聴器工業会が定める「適応聴力範囲」に基づいて記載してあります。

●補聴器を装用することで、難聴が進行することはありません。

●自己チェックだけでなく、詳しくは補聴器取扱店もしくは耳鼻科の専門医にご相談ください。